



佐久で「森ギヤル」下草刈り

NPO法人「森のライフスタイル研究所」(本部・伊那市)は16日、佐久市大沢の大沢財産区所有林で、森林の手入れなどをするイベント「夏のキャンプ、下草刈りツアー」を開いた。同研究所が「森ギヤル」と名付けた首都圏の若い女性ら20人が参加し、鎌を片手に斜面の下草を黙々と刈った。

◇ ◇ ◇
カラフルな服装に長靴と軍手を着けた参加者はまず、地元住民らから「草の根元から刈って」と指導を受けた。毛虫などに驚きながら約2時間作業。

鎌を使って下草を刈る「夏のキャンプ、下草刈りツアー」の参加者

伊那のNPO「ツアー」企画 首都圏の女性ら20人 汗

夏の日差しが照り付ける中、斜面一帯に広がる雑草を刈ると汗だくになった。

同研究所は2008年から首都圏在住の若者を対象に参加者を募る植樹や間伐体験を定期的の実施。昨年から参加している東京都内の会社員、小倉千果さん(30)は「森の手入れをすることでエコロジー(環境保護)活動に加われたという実感が生まれた。森の中は自然体でいられる」と話した。

参加者は、大沢財産区が森林整備や交流体験の拠点としてことし2月に完成させた「大沢森の分教場」でキャンプをして、17日も森林の手入れをする。2日間で約1畝の下草を刈る予定だ。